

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No.10

調査者	松木 良介、井澤 和夫
情報ソースの刊行日	2020年3月18日
情報ソースの調査日	2020年4月20日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年4月25日
日本語タイトル	コロナウイルスと心臓血管系: 急性および長期的影響
情報ソース	Xiong TY, Redwood S, Prendergast B, Chen M. Coronaviruses and the cardiovascular system: acute and long-term implications. Eur Heart J. 2020 Mar 18.
情報のカテゴリー	心疾患全般
発信地域	アジア(中国)、ヨーロッパ(英国)
DOI	10.1093/eurheartj/ehaa231.
URL	https://academic.oup.com/eurheartj/article/doi/10.1093/eurheartj/ehaa231/5809453
要約	<ul style="list-style-type: none"> 心臓血管系に対する COVID19 を含むコロナウイルスの急性および長期的影響に関するレビュー。 コロナウイルス感染は、心臓血管系の合併に関連する。 COVID19 感染においても心筋障害が報告されている。 臨床コホートによる COVID-19 患者の心臓血管系の合併は、急性心臓損傷(7.2%)、ショック(8.7%)、そして不整脈(16.7%)である。 全身感染による炎症性および凝固促進活性は、感染症治療後も長期的に持続する。 重症急性呼吸器症候群 (Severe Acute Respiratory Syndrome: SARS) による生存者の脂質代謝異常は、12年間持続した。 鳥インフルエンザ A (H7N9) による心機能異常は、1年間持続した。 COVID19 感染の長期的な影響は、不明確にて、フォローアップが必要である。
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか?	<ul style="list-style-type: none"> COVID19 を含むコロナウイルスが心臓血管系に対する急性および長期的影響について示されている。 心臓血管系患者の感染リスクを軽減させる事が重要である。 COVID 19 感染後は、それが、心臓血管系の機能に影響を生じることを考慮し、理学療法を実施する必要がある。